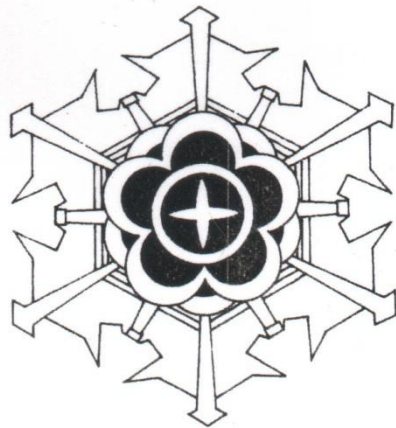


'11

# 消防年報



福岡県田川地区消防組合  
田川地区消防本部

# は し が き

この年報は、主として平成 22 年の資料に基づき、田川地区消防の現況を紹介するとともに、火災・救急等の災害状況を収録したものであります。

この年報に用いた統計は、原則として歴年をもってあらし、予算関係については会計年度により作成しました。

この年報が、住民生活の安全確保のうえから地域防災に対する関係各位のご認識とご理解の一助としてご利用いただければ幸甚に存じます。

平成 23 年 8 月

田川地区消防本部

# 目 次

## 総 括

1. 福岡県田川地区消防組合管内図	1
2. 福岡県田川地区消防組合管内の概要	2
3. 田川地区管内市町村別人口及び世帯数調べ	2
4. 消防の沿革	3
5. 消防庁舎の配置と概要	12

## 総 務

1. 平成 22 年度消防組合予算及び決算額	14
2. 消防組合・消防本部（消防署）の組織	17
3. 事務分掌	18
4. 職員の配置状況	21
5. 消防職員の現況	22
6. 消防吏員年齢別表	23
7. 職員研修	24
(1) 消防職員教養実施状況	24
(2) 消防吏員の特殊技能免許・有資格者状況	25

## 予 防

1. 火災予防概要	26
2. 防火対象物の実態	27
(1) 防火対象物の現況	27
(2) 中・高層建築物数	29
(3) 事業所別防火管理者選任状況	30
(4) 消防用設備等の設置状況	31
3. 消防用設備等事務処理状況	32
(1) 消防用設備等着工届出状況	32
(2) 消防用設備等設置届出状況	32
4. 建築同意事務処理状況（市町村別・項別・階数別）	33
5. 防火査察	35
(1) 防火対象物等の査察状況	35
(2) 各種防火指導の状況	35
(3) 各種届出事務処理状況	36
6. 危険物施設	37
7. 危険物規制	38
(1) 危険物規制事務処理状況	38
(2) 危険物製造所等許可・完成件数調べ	39
(3) 危険物製造所等立入検査実施状況	39

## 警 防 編

1. 出動区分	40
2. 緊急車両到着所要時間	41
3. 広域災害応援体制	42
4. 平成 22 年度整備車両	43
5. 現有消防車両	46
6. 現有防災用資機器材	48
7. 消防水利の状況	50
8. 通信指令系統図	51
(1) 有線系	51
(2) 無線系	52
9. 119 番の着信状況	53

## 火 災 統 計

1. 平成 22 年中の火災概要	54
2. 前年比較表	54
3. 市町村別火災件数	55
4. 月別火災統計表	57
5. 過去 5 ヶ年間の火災件数比較表	58
6. 過去 5 ヶ年間の損害額比較表	58
7. 過去 5 ヶ年間の焼死者比較表	58
8. 出火原因別火災発生件数	59

## 救 急 統 計

1. 平成 22 年中の救急概要	60
2. 事故別救急件数	61
3. 救急統計概要	62
4. 救急業務の推移	63
5. 収容所要時間別搬送人員調べ	64
6. 事故種別・年齢区分別搬送人員調べ	64
7. 事故種別・市町村別救急件数	65
8. 救急救命士特定行為事故種別実施状況	67
9. 事故種別・傷病程度別搬送人員調べ	67
10. 署所別救急件数	68
11. 月別救急出場件数	68
12. 高齢者（65 歳以上）の救急事故搬送状況	69
13. 救急隊員が実施した応急処置の内容	70

## 救 助 統 計

1. 平成 22 年中の救助活動の概要	71
2. 各種訓練実施状況	71

3. 消防救助隊 .....	72
4. 救助活動状況の推移 .....	72

## 参考資料

1. 市町村別・消防団階級別人員 .....	73
2. 消防団員の勤続年数 .....	74
3. 市町村別・消防団機械配置状況 .....	75

# 総 括

福岡県田川地区消防組合管内図

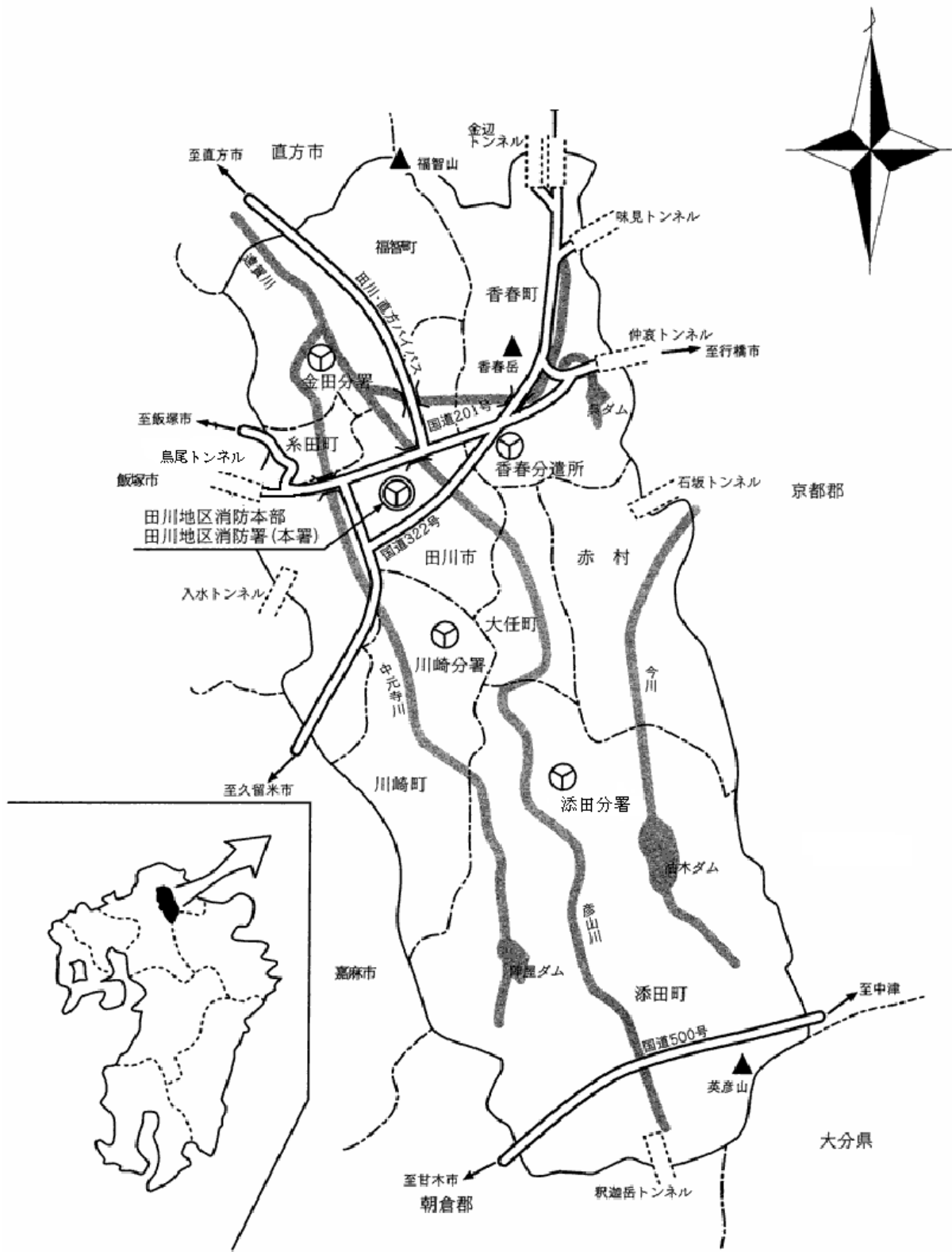
福岡県田川地区消防組合管内の概要

田川地区管内市町村別人口及び世帯数調べ

消 防 の 沿 革

消 防 庁 舎 の 配 置 と 概 要

# 1. 福岡県田川地区消防組合管内図



## 2. 福岡県田川地区消防組合管内の概要

### (1) 位置及び面積

福岡県田川地区消防組合の管内は、福岡県のやや東部の内陸に位置し、北隣は直方市及び北九州市に、東隣は京都郡に、南隣は国定公園英彦山（一部大分県境）を経て朝倉郡に、西隣は嘉麻市に接し、北隣直方市側を除く四周は、故事豊かな連山に囲まれた盆地を形成している。

田川地区（田川市、香春町、添田町、川崎町、糸田町、大任町、福智町、赤村）は、東西約14km、南北約32kmで、管内総面積は363.67km<sup>2</sup>であるが、秀麗英彦山（福岡県の最高峰1,200m）を源泉に今川、そして田川盆地を彦山川、中元寺川が縦貫して流れ、筑豊の母なる川、遠賀川に合流している。

### (2) 主な産業

田川地区は、かつて筑豊炭田の中心をなしていたが、エネルギー革命に押されて黒ダイヤといわれていた石炭が消え、今では白ダイヤと言われる石灰岩からセメントが生産されている。又古くから陶業が発達し、多くの陶器が生産されている。

## 3. 田川地区管内市町村別人口及び世帯数調べ

市町村	面積 (km <sup>2</sup> )	H12. 10. 1 国調		H17. 10. 1 国調		H23. 3. 31 現在	
		人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
田川市	54.52	54,027	20,982	51,534	20,645	50,835	24,118
香春町	44.56	13,104	4,687	12,369	4,639	12,414	5,604
添田町	132.1	12,750	4,504	11,810	4,377	11,393	4,910
川崎町	36.12	20,190	7,766	20,115	8,001	19,377	9,466
糸田町	8.04	10,469	3,939	10,216	4,011	9,904	4,671
大任町	14.24	5,943	2,137	5,741	2,133	5,704	2,525
金田町	7.46	8,341	2,852	8,011	2,900	25,128	11,199
赤池町	16.2	10,032	3,462	9,592	3,446		
方城町	18.38	8,002	2,556	7,940	2,620		
赤村	32.03	3,636	1,165	3,408	1,188	3,444	1,485
計	363.65	146,494	54,050	140,736	53,960	138,199	63,978

※ 金田町、赤池町、方城町は、平成18年3月6日合併により福智町になる。

## 4. 消防の沿革

### 消防組合前の沿革

23. 2. 10 福岡県告示（昭和 23 年告示第 55 号）をもって特設田川消防署が設置（田川市日の出町）され消防ポンプ自動車 4 台を配置し定員 38 人で消防業務を開始する
23. 3. 7 消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）の施行により自治体消防となる  
〃 田川市消防本部（署）に移行、職員 12 人増員し定員 50 人となる
23. 6. 25 田川市消防署後藤寺分署開設（田川市西区本町）
23. 7. 24 消防法（昭和 23 年法律第 186 号）制定、予防行政が取入れられ消防行政の基盤が確立する
25. 7. 1 職員 1 人増員し定員 51 人となる
26. 4. 1 職員 4 人増員し定員 55 人となる
26. 4. 10 水槽付消防ポンプ自動車購入配置
26. 5. 16 小型動力ポンプ 2 台購入配置
26. 5. 20 消防水利整備計画作成
26. 12. 18 照明付消防ポンプ自動車購入配置
27. 8. 1 直方・飯塚・田川・筑豊 3 市消防相互応援協定締結
27. 7. 27 消防施設強化促進法（昭和 28 年法律第 87 号）消防施設等の強化のため補助金制度発足する
28. 8. 1 消防専用電話設置
28. 9. 5 田川市消防本部（署）新庁舎落成 = 田川市新町 11 番 65 号 =
30. 4. 16 消防無線局開設
30. 10. 10 消防ポンプ自動車更新整備
30. 12. 26 田川郡猪位金村、田川市に編入合併に伴い職員 3 人増員し定員 58 人となる
31. 1. 12 消防ポンプ自動車更新整備
31. 4. 1 田川市消防力強化 5 ヶ年計画作成
31. 8. 7 水槽付消防ポンプ自動車購入配置（本署）
32. 12. 13 指令車（ジープ型、無線付）配置  
〃 無線機購入開局（基地局、異動局一基）
32. 12. 24 ホース乾燥台設置
33. 10. 7 消防長公舎、庁舎敷地内に建設
33. 12. 25 職員 6 人増員し定員 64 人となる
34. 4. 1 田川市消防署後藤寺分署新築移転（田川市西本町 1 番 5 号）
34. 6. 6 消防ポンプ自動車更新整備
34. 9. 26 危険物の規制に関する政令（昭和 34 年政令第 306 号）制定、危険物製造所等の基準が制定される（田川市危険物取締条例廃止）
35. 2. 15 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車 1 台寄贈を受け本署に配置
35. 9. 16 消防ポンプ自動車更新整備 1 台
35. 12. 2 田川市消防署後藤寺分署、移動無線機設置
36. 3. 25 消防法施行令（昭和 36 年政令第 37 号）制定、消防用設備等の技術上の基準等が

整備される

- 36. 8. 1 消防力の基準（昭和 36 年消防庁告示第 2 号）制定される
- 36. 11. 15 災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）制定される
- 36. 11. 22 火災予防条例の準則制定される
- 37. 5. 26 電話の自動化に伴い 40 回線 1 号 A A 共電式構内交換機を設置（119 番新設）
- 37. 6. 16 救急業務の開始 [田川市防火協力会より救急車（フォルクスワーゲン・人工蘇生器・酸素吸入器・無線機付）寄贈を受け本署に配置し、筑豊地区に先がけ救急業務を開始する]
- 37. 7. 17 乗用車配置
- 38. 3. 1 本署消防車に移動用無線機設置
- 38. 3. 7 田川市消防本部創立 15 周年記念
- 38. 4. 15 救急業務法制化（消防法の改正）される
- 38. 8. 1 田川市消防団事務を田川市消防本部に統合する
- 38. 3. 5 田川市消防本部・消防団優良機関として消防庁長官より表彰（表彰旗受賞）
- 39. 7. 1 「国民安全の日」にあたり「国民安全功労」により内閣総理大臣より表彰される
- 40. 6. 28 田川市・山田市・川崎町、消防相互応援協定締結
- 40. 11. 30 全消防車両に無線機設置（S S B）
- 41. 1. 23 筑豊地区に先がけ、本署に化学消防車配置

## 消防組合の沿革

- 45. 3. 4 福岡県田川地区消防組合の設立許可を受ける（福岡県地方課第 126 号許可）
- 45. 4. 1 田川地区 1 市 8 町 1 村（田川市・香春町・添田町・金田町・川崎町・糸田町・赤池町・方城町・大任町・赤村）をもって福岡県田川地区消防組合を設立  
消防本部、消防署を同日に開庁し消防業務を開始する 定員 99 人で発足する
- 〃 昭和 45 年第 1 回消防組合議会臨時会において田川市長坂田九十百氏が初代管理者に川崎町選出議員原口栄弘氏が初代議長に就任する
- 45. 12. 13 田川地区消防署金田・川崎分署開設 水槽付消防ポンプ自動車、救急車をそれぞれ配置  
川崎福岡ライオンズクラブより広報車 1 台寄贈を受け川崎分署に配置する
- 45. 12. 21 福岡県田川地区消防組合火災予防条例制定
- 46. 4. 1 定数条例の改正により、28 人増員し定員 127 人となる
- 46. 6. 1 自治省告示第 110 号をもって香春町、添田町、金田町、川崎町、糸田町、赤池町、方城町、大任町及び赤村が消防本部及び消防署を置かなければならない町村に政令指定される
- 46. 7. 19 昭和 46 年第 2 回消防組合議会臨時会において管理者に田川市長坂田九十百氏再選、議長に川崎町選出議員小松種正氏が第 2 代議長に就任する
- 46. 11. 18 水槽付消防ポンプ自動車更新整備（後藤寺分署）
- 46. 11. 19 本署、金田分署に広報車配置
- 47. 3. 15 福岡県田川地区消防組合公平委員会設置
- 47. 4. 10 日本損害保険協会より救急車 1 台寄贈を受け本署に配置する

47. 7. 6 添田出張所及び香春分遣所を開設  
 // 添田出張所に水槽付消防ポンプ自動車・救急車・広報車を、香春分遣所に救急車を配置する
47. 10. 16 筑豊地区（飯塚地区消防組合、福岡県田川地区消防組合、直方市、宮田町）消防  
 消防相互応援協定締結
48. 11. 16 国鉄日田彦山線・彦山・筑前岩屋駅間で発生した列車火災の消火活動による功績  
 で門司鉄道管理局長より表彰される
48. 4. 1 毎月1日「防災の日」に設定
48. 11. 29 昭和48年第2回消防組合議会定例会において糸田町選出議員井手元正行氏が第3  
 代議長に就任する
49. 2. 20 国鉄田川線柚須原・勾金駅間において発生した沿線法面の火災の消火活動による  
 功績により門司鉄道管理局長より表彰される
49. 3. 5 上田清次郎氏より、昭和45年11月に寄贈された浄財300万円の援助を得て救助  
 体制の強化を図るため救助工作車を購入し本署に配置する
49. 7. 4 日本消防協会より調査車1台寄贈を受け本部に配置する
49. 11. 15 消防本部庁舎（待機室、仮眠室）増改築竣工
50. 1. 29 小型動力ポンプ積載車を本署に配置する
50. 3. 12 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈を受け本署に配置  
 // 消防ポンプ自動車更新整備
50. 7. 2 昭和50年第2回消防組合議会臨時会において、管理者に田川市長坂田九十百再  
 選、議長に香春町選出議員大場正夫氏が第4代議長に就任する
50. 12. 25 水槽車（6,000ℓ積載）を本署に配置する
50. 12. 28 調査車2台（本部用）更新整備
51. 2. 12 田川地区防災協会の協力援助を得て屈折はしご付消防ポンプ自動車（15m級）を  
 購入本署へ配置
51. 5. 13 林工業株式会社社会長林光雄氏より指令車の寄贈を受け本署へ配置
51. 7. 15 訓練塔設置
51. 11. 27 化学消防自動車更新整備（本署）
51. 12. 23 水槽車（4,000ℓ積載）3台購入し川崎、金田分署及び添田出張所へ配置
51. 12. 26 乗用車更新整備
52. 5. 11 消防資器材運搬用トラック（2tダンプ）を購入し本署へ配置
52. 5. 30 昭和52年第2回消防組合議会臨時会において議長に香春町選出議員大場正夫氏  
 が再選される
52. 12. 29 福岡県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受け金田分署へ配置（更  
 新）
53. 10. 31 無線中継基地局を川崎分署に設置
53. 11. 26 スーパー寿屋において自治体消防30周年を記念し“くらしの防火展”を開催
54. 3. 1 筑豊地区常備消防相互応援協定書（47. 10. 16締結）の一部改正
54. 4. 1 福岡県田川地区消防組合・京築広域市町村圏事務組合、消防相互応援協定締結
54. 6. 28 昭和54年第2回消防組合議会臨時会において管理者（第2代）に田川市長滝井  
 義高氏が選任される
54. 8. 10 広報車更新整備（本署）
54. 9. 28 水槽付消防ポンプ自動車更新整備（川崎分署）

54. 10. 11 福岡県共済農業協同組合連合会より救急車 1 台寄贈を受け川崎分署へ配置
54. 10. 12 日本防火協会より防火広報車（9 人乗り）1 台寄贈を受け本署へ配置
54. 12. 14 救急指令装置 B 型（S 5411-1）を購入整備
54. 12. 19 水槽車更新整備（川崎分署）
55. 5. 29 広報車更新整備（川崎及び金田分署）
55. 9. 22 水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入し香春分遣所に配置
- 〃 水槽付消防ポンプ自動車更新整備（金田分署）
55. 10. 1 消防力整備計画作成（第 2 次）
55. 12. 1 第 2 次消防力整備計画により職員 22 人増員し定員 149 人となる
56. 2. 23 日本自動車工業会より救急車 1 台寄贈を受け添田出張所へ配置
56. 5. 15 防火基準適合表示要綱（適マーク）制定される
56. 5. 18 昭和 56 年第 2 回消防組合議会臨時会において議長に香春町選出議員大場正夫氏が再選される
56. 6. 11 広報車更新整備（添田出張所）
56. 9. 30 水槽付消防ポンプ自動車更新整備（川崎及び後藤寺分署）
56. 10. 1 組織機構の改革を行い従来の本部署の兼務体制から 1 本部 1 署体制（署長専任制）とし、署に中隊制を採用する〔本部 2 課 6 係、署 1 課（2 中隊）3 係〕
57. 3. 9 救急車更新整備（本署）
57. 3. 29 電源証明車購入本署に配置
57. 5. 11 「防災の日」及び「防災週間」の制定が閣議了解される
57. 6. 19 田川地区消防署香春分遣所移転新築（香春町高野 1211-4）
57. 7. 20 消防救第 27 号により 9 月 9 日が「救急の日」として制定される
57. 9. 17 消防ポンプ自動車更新整備（本署）
57. 9. 20 救急車更新整備（香春分遣所）
- 〃 日本消防協会より救急車 1 台寄贈を受け金田分署に配置
58. 6. 29 昭和 58 年第 2 回消防組合議会臨時会において管理者に田川市長滝井義高氏が再選される
58. 7. 5 隊員輸送車（マイクロバス定員 29 人）購入配置
58. 10. 30 消防無線移動 10W（車載無線機）5 基更新整備
58. 11. 1 田川地区消防組合・消防本部・消防署、合同新庁舎建設用地決定（田川市高住団地）
59. 3. 14 本部用調査車更新整備
59. 4. 1 組織機構の改革を行い本部署の所掌事務を管理部門と業務部門に分掌し本部を 2 課 6 係に副署長制を導入する
59. 10. 14 添田ライオンズクラブ、川崎福岡ライオンズクラブから訓練用レサシアン CPR（心肺蘇生）ランプ信号電子制御付、大人用・子供用各 1 個寄贈を受け川崎分署及び添田出張所に配置
59. 12. 14 本部用調査車更新整備
59. 12. 19 乗用車更新整備及び消防無線移動 10W（車載無線機）4 基更新整備
60. 2. 1 新防火衣並びに消防車両標識番号制を採用
60. 4. 1 田川市防災行政無線開局に伴い遠隔制御器を通信指令室に設置する
- 〃 福岡県田川地区消防組合発足 15 周年を記念して消防自治体章（徽章）を制定する

60. 4. 14 下田川ライオンズクラブから消防広報車の寄贈を受け、金田分署に配置
60. 5. 25 昭和 60 年第 2 回消防組合議会臨時会において川崎町選出議員山野義照氏が第 5 代議長に就任する
60. 6. 14 本部用調査車更新整備
60. 7. 19 パーソナルコンピュータ整備
60. 7. 27 田川地区消防本部ラッパ隊を結成する（隊員 16 人）
60. 8. 1 福岡県田川地区消防組合消防本部（署）庁舎建設委託仮契約締結（九州地方建設局）
60. 8. 10 昭和 60 年第 3 回消防組合議会臨時会において福岡県田川地区消防組合消防本部（署）庁舎建設 3 ヶ年継続事業（継続費）及び工事委託契約を議決
60. 9. 5 建設省九州地方建設局と新庁舎建設業務の委託契約を締結する
60. 9. 7 永年にわたり救急医療事業に尽くした功績により福岡県知事から感謝状を受賞する
60. 12. 1 消防組合発足 15 周年記念号「消防年報」発刊
60. 12. 24 水槽付（Ⅱ型）消防ポンプ自動車（再加圧ポンプ装備）1 台を整備し、本署に配置
61. 1. 21 消防旗、消防標旗の制式を制定する
61. 2. 27 川崎分署、救急車（2B 型）更新整備
61. 3. 13 通信指令の前進基地としての機能を有した指揮無線車を整備し、本署に配置
61. 3. 14 昭和 61 年第 1 回消防組合議会定例会において金田町選出議員千手大藏氏が第 6 代議長に就任する
61. 3. 31 携帯用無線機（1W）3 基整備
61. 4. 15 消防組織法の改正により救助隊が法制化される
61. 6. 10 河川情報システムの端末機を通信指令室に整備
61. 10. 29 公平委員田邊俊明氏永年の地方自治への功績に対し、自治大臣表彰を受賞
61. 10. 30 指揮車兼広報車を整備し、本署に配置する
61. 11. 22 昭和 61 年第 2 回消防組合議会臨時会において、福岡県田川地区消防組合・消防本部（署）庁舎建設 3 ヶ年継続事業費（継続費）の変更議決
62. 1. 6 建設省九州地方建設局と新庁舎建設業務委託契約の変更契約を締結する
62. 1. 19 新消防庁舎建設工事安全祈願祭を施工業者で実施
62. 3. 11 香春分遣所、救急車（2B 型）更新整備
62. 3. 15 救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の制定（61. 10. 1）に伴い、大型救助器具を整備する
62. 6. 9 昭和 62 年第 2 回消防組合議会臨時会において管理者に田川市長滝井義高氏が再任、議長（第 7 代）に川崎町選出議員井塚勝頼氏が就任する
62. 10. 5 添田町油木ダムで発生したダム湖底水没交通死亡事故における湖底の捜索、遺体及び交通事故車両の引き上げ活動による功績により添田警察署長より表彰される
62. 11. 3 公平委員長上田厚氏地方自治功労で藍綬褒賞受賞
62. 11. 19 福岡県田川地区消防組合規約の変更（組合の事務所の位置の変更）が許可される（地行第 324 号許可）
62. 11. 25 田川地区消防の歌制定
- 〃 田川地区消防本部（署）庁舎竣工
62. 11. 28 昭和 62 年第 3 回消防組合議会臨時会において、本組合の消防本部及び消防署の設置に関する条例の一部改正案が可決され（12 月 11 日施行）位置が田川市大字

川宮 1570 番地に変更

- 62. 11. 30 消防緊急システム（Ⅱ型）を整備・総合気象観測装置を整備
- 62. 12. 2 消防波（市町村波）を増波（移動局 12 台に実装）
- 〃 指揮無線車に無線ファックスを装備
- 〃 救助工作車更新整備（本署配置）
- 62. 12. 4 消防音楽隊発足（旧ラッパ隊）
- 62. 12. 7 福岡県共済農業共同組合連合会より救急車寄贈を受ける（本署配置）
- 62. 12. 10 旧消防庁舎閉庁式〔消防本部（署）、後藤寺分署〕
- 62. 12. 11 新消防庁舎（田川市大字川宮 1570 番地）で消防本部、署業務開始（後藤寺分署統合）
- 62. 12. 20 火災調査器具ガスクロマトグラフ整備
- 63. 3. 10 林野火災空中消火資機材を県費補助を受けて整備
- 63. 3. 14 自治体消防制度 40 周年記念行事実施
- 63. 3. 15 自動出動指令装置入力データ変更用パーソナルコンピュータ整備
- 63. 6. 9 ヘリコプターによる空中消火基地として 12 ヶ所を指定
- 63. 6. 24 福岡県田川地区消防組合・消防本部（署）合同庁舎全建賞コンクールに入賞
- 63. 7. 30 消防音楽隊、初のコンサートを田川市日の出町で開催
- 63. 8. 10 (財)日本消防協会から防災用資機材〔携帯用無線機（10 基）、携帯用拡声器（2 台）〕  
交付される
- 63. 10. 14 添田出張所、救急車（4WD）更新整備
- 63. 11. 15 自治体消防 40 周年記念号「消防年報」発刊
- 63. 11. 26 自治体消防制度 40 周年記念“たがわ防災フェア”を開催
- 63. 12. 23 30m級はしご付消防自動車（4 輪・カニ走行）を購入、本署へ配置
- 1. 3. 15 分署等（4 署所）に消毒室を設置
- 1. 3. 25 添田出張所住民防災指導室兼屋内訓練場完成
- 〃 福岡県消防相互応援協定締結
- 1. 3. 30 化学消防ポンプ自動車（Ⅲ型）更新設備（本署配置）
- 1. 5. 10 田川市郡 1 市 8 町 1 村の田川地区消防相互応援協定締結される
- 1. 8. 29 聴覚・言語障害者専用の火災・救急通報受信ファックスを設置
- 1. 11. 10 金田分署、救急車（2B 型）更新整備
- 2. 1. 29 川崎分署住民防災指導室兼屋内訓練場完成
- 2. 3. 26 福岡県田川地区消防組合に関する協定書締結
- 2. 3. 28 防災資機材搬送車整備
- 2. 3. 31 田川地区消防 20 年のあゆみ発刊
- 2. 4. 1 4 人増員し定員 153 人となる
- 2. 4. 25 第 8 回交通事故防止コンクールに参加し、福岡県安全運転管理協議会から表彰される
- 2. 10. 22 とびうめ国体(第 45 回国民体育大会空手道競技大会)で特別警備及び音楽隊による支援
- 2. 11. 26 田川地区消防本部組織機構を改正（3 課体制）
- 2. 12. 12 福岡県共済農業協同組合連合会より救急車寄贈を受ける（川崎分署配置）
- 2. 12. 15 福岡県田川地区消防組合設立 20 周年記念式典挙行
- 〃 耐熱耐煙訓練施設落成

- 2. 12. 20 香春分遣所住民防災指導室兼屋内訓練場完成
- 3. 3. 22 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型）更新整備（川崎分署配置）
- 3. 3. 27 消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）更新整備（本署配置）
- 3. 6. 3 平成3年度第2回消防組合議会臨時会において管理者に田川市長滝井義高氏が再任、議長（第8代）に川崎町選出議員政時喜久美氏が就任する
- 3. 11. 3 田川地区幼年消防クラブ結成大会を開催
- 3. 12. 20 車庫倉庫棟を増築
- 4. 2. 11 消防音楽隊 第1回定期演奏会を田川青少年文化ホールで開催
- 4. 2. 20 台風19号における防災活動の功績が認められ、福岡県知事から表彰される
- 4. 2. 26 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型）更新整備（金田分署配置）
- 〃 調査車No.4（ボンゴ型）を更新整備
- 4. 3. 9 屋上監視カメラを設置
- 4. 4. 15 緊急通報システム（独居老人、身体障害者用）の運用開始
- 4. 4. 30 川崎分署訓練塔完成
- 4. 9. 1 火災情報トーカー案内サービス（40回線）運用開始
- 4. 12. 8 添田出張所に油圧式救助器具を配置
- 5. 2. 16 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型）更新整備（本署、添田出張所配置）
- 5. 3. 16 救急車（3000cc）更新整備（香春分遣所配置）
- 5. 3. 18 添田出張所訓練塔完成
- 〃 香春分遣所訓練場舗装完了
- 5. 4. 1 8人増員し、定員161人となる
- 5. 6. 11 福岡県田川地区消防組合、甘木・朝倉広域市町村圏事務組合消防相互応援協定を締結
- 5. 10. 8 第2回田川地区幼年消防クラブ大会を開催
- 6. 2. 15 調査広報車更新整備（香春分遣所配置）
- 6. 2. 25 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型）更新整備（香春分遣所配置）
- 6. 2. 27 消防音楽隊第2回定期演奏会を開催
- 6. 2. 28 蘇生訓練用生体シミュレーターを整備
- 〃 高規格救急車整備（本署配置）
- 6. 4. 27 救急救命士免許取得1人
- 6. 10. 1 救急救命士乗務による高規格救急車運用開始
- 6. 10. 12 調査車No.2を更新整備
- 6. 11. 15 第3回田川地区幼年消防クラブ大会を開催
- 6. 11. 22 救急救命士免許取得1人（計2人）
- 7. 1. 6 資材搬送車を整備（本署配置）
- 7. 2. 7 阪神・淡路大震災救助隊派遣
- 7. 4. 1 福岡県市町村職員退職手当組合加入
- 7. 5. 24 平成7年度福岡県総合防災訓練（田川市）に参加
- 7. 6. 12 平成7年第2回消防組合議会臨時会において管理者に田川市長滝井義高氏が再任議長（第9代）に金田町選出議員丸山隆氏が就任する
- 7. 8. 25 応急手当普及啓発広報車を整備
- 7. 11. 15 第4回田川地区幼年消防クラブ大会を開催
- 7. 11. 16 救急救命士免許取得1人（計3人）

- 8. 3. 10 消防音楽隊第 3 回定期演奏会を開催
- 8. 4. 18 救急救命士免許取得 1 人 (計 4 人)
- 8. 11. 13 救急救命士免許取得 1 人 (計 5 人)
- 8. 11. 14 第 5 回田川地区幼年消防クラブ大会を開催
- 9. 2. 27 高規格救急車整備 (金田分署配置)
- 9. 3. 13 小型動力ポンプ付水槽車 (I 型)
- 9. 5. 6 救急救命士免許取得 1 人 (計 6 人)
- 9. 8. 5 (社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車「火災保険号」の寄贈を受ける  
(本署配置)
- 9. 11. 19 救急救命士免許取得 1 人 (計 7 人)
- 9. 12. 4 第 6 回田川地区幼年消防クラブ大会を開催
- 10. 2. 26 高規格救急車整備 (川崎分署配置)
- 10. 2. 28 自治体消防発足 50 周年記念 消防音楽隊第 4 回定期演奏会開催
- 10. 4. 20 田川信用金庫より本部指令用消防自動車の寄贈を受ける
- 10. 5. 11 救急救命士免許取得 1 人 (計 8 人)
- 10. 11. 13 第 7 回田川地区幼年消防クラブ大会を開催
- 10. 2. 24 田川市大字伊田、山本正氏より浄財 1000 万円の寄贈を受ける
- 11. 3. 23 緊急通信指令システム更新整備
- 11. 5. 11 救急救命士免許取得 1 人 (計 9 人)
- 11. 8. 5 高規格救急車整備 (本署配置)
- 11. 11. 12 第 8 回田川地区幼年消防クラブ大会を開催
- 11. 11. 19 救急救命士免許取得 1 人 (計 10 人)
- 12. 3. 10 救助工作車 (III 型) 更新整備
- 12. 5. 8 救急救命士免許取得 1 人 (計 11 人)
- 12. 7. 19 隊員輸送車 (マイクロバス) 更新整備
- 12. 11. 13 救急救命士免許取得 1 人 (計 12 人)
- 13. 1. 31 消防組合設立 30 周年記念号「消防年報」発刊
- 13. 2. 1 小型動力ポンプ付水槽車 (水 3000ℓ積載) 更新整備 (添田出張所配置)
- 13. 3. 10 消防組合設立 30 周年記念 消防音楽隊第 5 回定期演奏会及び第 9 回田川地区幼年消防クラブ大会を開催
- 〃 消防組合設立 30 周年記念式典に併せ、田川市消防団から指揮広報車の寄贈を受ける  
(本部指令車として配置)
- 13. 5. 1 救急救命士免許取得 1 人 (計 13 人)
- 13. 7. 2 高規格救急車整備 (香春分遣所配置)
- 13. 9. 28 添田出張所防災倉庫完成
- 13. 11. 7 第 10 回田川地区幼年消防クラブ大会を開催
- 14. 3. 27 水槽付消防ポンプ自動車 (水 II A 型-2 級=水 4000ℓ積載) 更新整備 (本署配置)
- 14. 3. 28 小型動力ポンプ付水槽車 (水 3000ℓ積載) 更新整備 (川崎分署配置)
- 14. 4. 1 消防音楽隊活動休止
- 14. 5. 10 救急救命士免許取得 1 人 (計 14 人)
- 14. 12. 16 指導広報車を更新整備 (本署配置)
- 15. 5. 8 救急救命士免許取得 1 人 (計 15 人)
- 15. 6. 30 平成 15 年第 3 回消防組合議会臨時会において管理者 (第 3 代) に添田町長山本

- 文男氏が就任、議長（第10代）に川崎町選出議員政時喜久美氏が就任
15. 8. 6 IT機器の導入（パソコン20台、プリンタ9台、消防業務関係ソフト整備等）  
（平成13年度からの累計 パソコン38台、プリンタ15台）
15. 10. 24 高規格救急車を更新整備（川崎分署配置）
16. 3. 30 本庁空調を改修整備
16. 11. 26 本庁空調を改修整備
17. 1. 26 高規格救急車を更新整備（添田出張所配置）
17. 7. 31 福岡県田川地区消防組合・中津市消防相互応援協定を締結
17. 8. 19 調査車No.1更新（防災連絡車）
17. 8. 29 田川ライオンズクラブより防災連絡車の寄贈を受け、本部警防課へ配置
17. 12. 5 救急救命士免許取得1人（計16人）
18. 2. 高規格救急車を更新整備（金田分署配置）
18. 2. 1 金田分署新庁舎業務開始
18. 2. 24 福智町発足に伴う福岡県田川地区消防組合理約の変更許可
18. 4. 1 北九州市と福岡県田川地区消防組合との相互応援協定を締結
18. 5. 1 福岡県田川地区消防組合消防計画
18. 12. 行財政健全化計画（H18～H22）策定
19. 3. 27 福智町行政防災無線集中制御システム
19. 5. 30 救急救命士免許取得2人（計18人）
20. 6. 3 救急救命士免許取得2人（計20人）
20. 9. 29 社団法人田川地区防災協会から調査車No.2の寄贈を受け、本部総務課へ更新配置
21. 5. 22 救急救命士免許取得2人（計22人）
22. 3. 31 はしご付消防自動車（30m級水路付先端屈折式）更新整備（本署配置）
22. 3. 31 高規格救急車を更新整備（本署配置）
22. 3. 31 水槽付ポンプ自動車（CDⅡ型キャブ付＝水1400ℓ積載）更新整備（川崎分署配置）
22. 5. 6 救急救命士免許取得1人（計23人）
22. 8. 31 OA機器の追加・更新整備（本署・各分署）  
（追加配置：ノートパソコン10台・救急統計用デスクトップパソコン6台）  
（更新整備：カラープリンタ4台）
22. 9. 22 平成22年度第2回消防組合臨時会において、管理者（第4代）に大任町長永原譲二氏が就任
22. 10. 28 広報車更新整備（川崎分署配置）
23. 3. 1 OA機器の更新整備（本庁）  
（サーバ2台・ノートパソコン38台・プリンタ3台）
23. 3. 7 水槽付ポンプ自動車（CDⅡ型キャブ付＝水1400ℓ積載）更新整備（金田分署配置）
23. 3. 11 高規格救急車を更新整備（香春分遣所配置）
23. 3. 14 東日本大震災被災地へ緊急消防援助隊福岡県隊として派遣  
（派遣隊：救助部隊5名 派遣車両：救助工作車1台・指揮車1台）

## 5. 消防庁舎の配置と概要

### 田川地区消防本部・消防署（本署）

田川市大字川宮 1, 570 番地 TEL(0947)44-0650（代）



敷地面積：18,322 m<sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造 2 階建一部鉄骨造

延べ面積：2,860 m<sup>2</sup>

訓練塔・訓練補助塔・耐熱耐煙訓練施設・自家用給油取扱所・水難救助訓練用プール・放水ドーム・消防操法訓練場・テニスコート・モデル避難地

### 金田分署

田川郡福智町金田 1, 368 番地 2 TEL (0947) 22-0307



鉄筋コンクリート造 2 階建  
建築面積：533.67 m<sup>2</sup>

## 川崎分署

田川郡川崎町大字川崎 366 番地の 1 TEL (0947) 72-3007



敷地面積：3,626 m<sup>2</sup>  
鉄筋コンクリート造平屋建  
（車庫・鉄骨造）273.6 m<sup>2</sup>  
車庫・倉庫塔（鉄骨造）107 m<sup>2</sup>  
訓練塔  
ホース乾燥塔  
住民防災指導室兼屋内訓練場

## 添田分署

田川郡添田町大字添田 1,280 番地の 10 TEL (0947) 82-0500



鉄筋コンクリート造 2 階建  
建築面積：272 m<sup>2</sup>  
延べ面積：410 m<sup>2</sup>  
車庫・倉庫塔（鉄骨造）45 m<sup>2</sup>  
ホース乾燥塔  
住民防災指導室兼屋内訓練場

## 香春分遣所

田川郡香春町大字高野 1,211 番地の 4 TEL (0947) 32-2546



鉄筋コンクリート造平屋建  
車庫（鉄骨造）  
建築面積：220 m<sup>2</sup>  
ホース乾燥塔